

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	特別養護老人ホーム湘南けやきの外	階数	地上3F
建設地	伊勢原市小稲葉字一色1281番	構造	S造
用途地域	市街化調整地域	平均居住人員	180人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年1月 竣工	評価の実施日	2010年10月10日
敷地面積	5,626 m ²	作成者	株式会社 日比野設計
建築面積	2,013 m ²	確認日	2010年10月12日
延床面積	5,287 m ²	確認者	株式会社 日比野設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
お年寄りの終の住まいという意識の中、自然採光、自然通風を可能な限り可能な施設を目指し、中庭の多い建物となった。開口部の多さをカバーするため、複層ガラスを採用し、効率のよい設備機器を選定し環境に配慮した。	0	
Q1 室内環境 より快適な環境とするため、複層ガラス仕様の開口部、通風・採光に優れた中庭を6ヶ所設けた。	Q2 サービス性能 個室面積を10m ² 以上確保した。	Q3 室外環境(敷地内) 空地を出来る限りつくり、周辺地域のアメニティ向上に貢献した。
LR1 エネルギー 中庭を設け採光・換気性の向上を図るとともに、PAL、CECを考慮した機器を選定した。	LR2 資源・マテリアル 自動水栓や、節水型便器を使用し、GL工法、LGS壁を可能な限り使用。	LR3 敷地外環境 PAL、CECを考慮した機器を選定するとともに、駐車場や駐輪場を可能な限り多く確保した。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたし